

2024年3月14日
企業防災委員会
事務局

2023年度 企業防災委員会活動実績について

【2023年度当初計画】

1. 南海トラフ等の巨大地震対策の強化
2. 企業のBCPおよび地震対策強化に資する講演会の開催

2023年度の主な取り組み

1 委員会活動

(1) 第1回 企業防災委員会 (2023年9月8日開催)

【第1部：講演会】 [計画1,2]

演 題：『災害対応と復興現場におけるトップの決断
～被災地の本当の話をしよう～』

講 師：株式会社オフィス TOBA 代表取締役 (前陸前高田市市長) 戸羽 太 氏

- 東日本大震災で岩手県内最大の被害を受けた陸前高田市の市長を 2011 年 2 月から 12 年間務めた、戸羽太氏をお招きし、メディア等には出ていない、被災地で起こっていたリアルな話をしていただき、『後悔しない減災』というキーワードとともに、災害をよりリアルに感じる良い機会となった。

【第2部：会 議】

- ・企業防災専門委員会で得られた知見等の報告について
ー東北フィールドスタディ (視察会) の実施報告 [計画1,2] など
- 実施アンケート (参加者全員が大変満足) からも、とても有意義なフィールドスタディとなった。特に、被災地を「自分の目で見て」、被災者の「生の声を聴く」ことは、災害を「自分ごと」として考えるととても良い「キッカケ」となった。

(2) 第2回 企業防災委員会 (2024年3月14日開催)

【第1部：講演会】 [計画1,2]

演 題：『能登半島地震や過去の地震に学び南海トラフ地震に備える』

講 師：名古屋大学名誉教授 あいち・なごや強靱化共創センター長 福和 伸夫 氏

【第2部：会議】

- ・本年度活動実績の報告、次年度活動計画（案）の審議 など

2 専門委員会活動（全23社：2023年度は4回＋視察会を開催）

（詳細は、参考資料「2023年度 企業防災専門委員会 活動実績」を参照）

- 『BCP事例紹介』（2023年度は、3社：総合警備保障様、サーラエナジー様、中部電力様）は、2017年度より継続実施しており、各社の訓練や特徴的な取り組み等の情報を共有して、自社の取り組みに活かす貴重な機会となっている。中部電力様の時には、事例紹介の他、防災会議室を借りて会議を開催し、施設見学等の体験も含めて行った。2024年度以降も継続して実施していきたい。
- I-レジリエンス株式会社様にご協力いただき、災害時の情報収集に関する勉強会を開催するとともに、「レジリエント情報配信サービス」の無償トライアル（実際にサービスを利用して、情報収集や活用を体験する：希望会社のみ）を行った。改めて、情報の収集および活用の仕方の難しさを感じた。引き続き、防災・減災に関する『情報』について、最新動向の提供に努めたい。
- 13社15名が参加して5月に『東北フィールドスタディ（視察会）』を開催した。減災を進めるには、このような体験の機会は、重要であり今後新たな視察候補地を選定し、継続的に開催していきたい。2024年度も東北フィールドスタディ実施決定。
- 2023年度予定していた、『南海トラフ巨大地震の被害想定の見直しや防災対策の方向性についての理解促進等の活動』は、内閣府による公表が後ろ倒しとなったため、2024年度に延期することとした。

3 要請活動の実施

- ・ 河川・海岸堤防等における地震・津波対策の整備促進に関する要望（11月）
国土交通省および農林水産省に対し、愛知県および県内市町村とともに県民の生命・財産と県民生活や地域産業を守り、経済活動を確実に支えるため、愛知県における防災・減災対策を引き続き着実に推進できるよう河川・海岸堤防等の整備に必要な予算確保の要望を実施。

以上

2023年度 企業防災専門委員会 活動実績について

2023年度の企業防災専門委員会では、『情報』をキーワードにして、甚大な被害が想定される「南海トラフ地震」の事前対策の強化に取り組んできた。南海トラフ巨大地震の被害想定の見直し・防災対策の方向性の公表（内閣府）が後ろ倒しになり、理解促進活動などは、翌年度に持ち越しとなったものの、BCP事例紹介をはじめ東北フィールドスタディやレジリエント情報配信サービスのトライアル等、専門委員会ならではの活動を全4回（+視察会）実施した。その内容を以下のとおり報告する。

【2023年度当初計画】

1. BCP事例紹介等による委員各社のBCP高度化
2. 南海トラフ地震に対する事前対策の強化

1. 活動実績

○ 第1回

【日時】2023年5月17日（水）10:00～12:00

【場所】本会 大会議室+Web会議

【参加者】27名（中経連4名を含む）

【主な内容】

- ・第1部：災害時の情報収集に関する勉強会 [計画2]
【講師】I-レジリエンス株式会社
- ・第2部：東北フィールドスタディの事前説明会

○ 視察会

【日時】2023年5月25日（木）～26日（金） 1泊2日

【視察先】宮城県 石巻市・気仙沼市、岩手県 陸前高田市

【参加者】13社19名（中経連4名を含む）

【主な内容】

- ・東日本大震災後12年が経過し、復興が進む中、災害の現実を知り、有事の判断・決断の重みを考えるとともに、企業・行政・住民の災害対応から教訓を学び、自組織に活かす。[計画2]

○ 第2回

【日時】2023年8月2日（水）10:00～12:00

【場所】本会 大会議室+Web会議

【参加者】27名（中経連5名を含む）

【主な内容】

- ・BCP事例紹介 [計画1]
（総合警備保障株式会社 様、サーラエナジー株式会社 様）
- ・東北フィールドスタディ（視察会）の実施報告 [計画2]

○ 第3回 (I-レジリエンス day)

【日 時】 2023年11月7日(火) 13:30~17:00

【場 所】 本会 大会議室+Web会議

【参加者】 25名(中経連4名を含む)

【主な内容】

- ・第1部：中部エリアの防災力向上に向けて(意見交換)
- ・第2部：レジリエント情報配信サービス無償トライアル(情報提供・意見交換)

○ 第4回 (中部電力 day)

【日 時】 2024年2月15日(木) 15:00~17:00

【場 所】 中部電力株式会社 本店ビル 防災会議室

【参加者】 32名(中部電力4名、中経連5名を含む)

【主な内容】

- ・BCP事例紹介、施設見学[計画1]
(中部電力株式会社 様)
- ・本年度活動実績の報告、次年度活動計画(案)の審議
- ・2024年度 東北フィールドスタディについて[計画2]

2. 2023年度の活動について

- 2017年度より継続実施している『BCP事例紹介』は、専門委員会社のBCP、特に訓練等の特徴的な実施内容の情報を共有する有意義な機会となっている。今後も、各社の減災対策からの気づき等により、自社のBCPの実効性が高められるよう、2024年度以降も継続実施したい。
- 災害時の情報収集について、外部講師を招き勉強会を開催するとともに、「レジリエント情報配信サービス」の無償トライアル(実際にサービスを利用して体験する)を行った。改めて、情報の収集および活用の仕方の難しさを感じた。「情報」は、災害発生時のみならず、事前情報(被害想定やハザードマップ)等もあるため、引き続き「情報」に関する様々な話題を扱っていきたい。
- 13社15名が参加して5月に『東北フィールドスタディ(視察会)』を開催した。実際に、災害が起きた現場を「目で見て」、被災された方の「生の声を聴く」ことで、リアルに『自分ごと』として考える「キッカケ」を得る非常に良い機会となった。減災を進めていく上では、このような体験の機会は、重要であり継続的に開催していきたい。*2024年度も東北フィールドスタディ実施決定。
- 南海トラフ巨大地震の被害想定の見直し・防災対策の方向性の公表(内閣府)が後ろ倒しとなったため、2023年度は理解促進等の活動は実施できなかった。能登半島地震の対応や教訓・学びを含めて、2024年度に実施したい。

以上